

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 WDB株式会社

コード番号 2475 URL <http://www.wdb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,961	△10.9	63	△61.2	81	△48.4	21	△72.4
21年3月期第1四半期	5,569	—	163	—	158	—	77	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	427.96	—
21年3月期第1四半期	1,550.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	7,020	2,823	40.2	56,291.52
21年3月期	7,559	2,877	38.1	57,387.16

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,823百万円 21年3月期 2,877百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	700.00	—	1,500.00	2,200.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		700.00	—	1,500.00	2,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,898	△12.2	286	△36.3	279	△37.1	111	△49.1	2,231.39
通期	21,340	△6.0	748	△29.4	750	△28.2	360	△18.1	7,194.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 50,150株 21年3月期 50,150株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 50,150株 21年3月期第1四半期 50,150株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の下げ止まりや企業の在庫調整に伴う鉱工業生産の増加などから、一部では景気の底入れ感があると見込まれておりますが、雇用や所得環境をとりまく状況は依然として厳しく、企業においては設備投資が減少し、経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「研究職の職業人生をフルサポートする会社」として、スタッフの就業期間や就業状況を定期的に評価し、それをスタッフに賞与のようなかたちで還元を行う「キッテルクラブ」の設置やスタッフ自身のキャリアプランに応じて働き方を変化させていくことができるライフスタイルプランの提供、長期所得補償制度とカウンセリング制度の導入など、研究職派遣スタッフに対してサポートを行う仕組みを整備する一方、顧客に対しては派遣スタッフの就業状況の報告を行い、顧客・派遣スタッフ・当社グループとの関係強化に努めてまいりました。

また、派遣という働き方を選んだ人には「派遣就業」を、もっと安定的に且つ自分の能力を上げていきたい人には、「そのような働き方を提示できる場」を持つべきと考え、前期に有機化学薬品製造を行う株式会社キロテクノロジー研究所（埼玉県幸手市）の取得や環境問題に取り組み、その研究を行政や大学と共同で行う環境バイオ研究所（徳島県海部郡美波町）の開設を行っております。

併せて、神戸基盤研究所（神戸市中央区）、北海道バイオ研究所（札幌市中央区）、中央研究所（千葉県松戸市）、食品研究所（川崎市川崎区）の4箇所の研究所において、医薬、化学、食品業界で重要なウエイトを占める分析機器の操作や有機合成等の研修カリキュラムを実施し、派遣スタッフの能力を開発するための教育訓練を行っております。

以上のような活動の結果、当第1四半期の売上高は4,961百万円（前年同期比10.9%減）となりました。収益面では、経費削減を行ったものの新卒者の採用による販売費及び一般管理費の増加等があったため、営業利益63百万円（前年同期比61.2%減）、経常利益81百万円（前年同期比48.4%減）、四半期純利益21百万円（前年同期比72.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、現金及び預金の減少等により7,020百万円となり、前連結会計年度末と比較して538百万円の減少となりました。負債は、短期借入金等の減少により4,197百万円となり、前連結会計年度末と比較して483百万円の減少となりました。

また、純資産は2,823百万円となり、前連結会計年度末と比較して54百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,024	1,341,408
受取手形及び売掛金	2,206,639	2,279,096
商品及び製品	1,806	1,971
仕掛品	6,522	14,918
原材料及び貯蔵品	4,192	4,023
その他	346,650	336,494
貸倒引当金	△2,327	△1,892
流動資産合計	3,486,509	3,976,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	993,565	995,692
土地	1,482,446	1,482,446
その他(純額)	162,728	162,003
有形固定資産合計	2,638,739	2,640,142
無形固定資産		
のれん	208,379	233,652
その他	25,394	27,955
無形固定資産合計	233,774	261,607
投資その他の資産	661,444	681,209
固定資産合計	3,533,958	3,582,960
繰延資産	165	220
資産合計	7,020,632	7,559,201
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,208,212	1,226,106
短期借入金	967,000	1,202,678
1年内償還予定の社債	65,000	65,000
未払法人税等	61,714	200,572
賞与引当金	176,590	258,001
その他	710,362	653,609
流動負債合計	3,188,879	3,605,967
固定負債		
社債	137,500	147,500
長期借入金	630,000	675,000
退職給付引当金	12,003	11,108
役員退職慰労引当金	204,792	227,949
その他	24,437	13,708
固定負債合計	1,008,733	1,075,267
負債合計	4,197,612	4,681,235

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,807	479,807
資本剰余金	372,718	372,718
利益剰余金	1,971,246	2,025,009
株主資本合計	2,823,772	2,877,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△752	430
評価・換算差額等合計	△752	430
純資産合計	2,823,019	2,877,966
負債純資産合計	7,020,632	7,559,201

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,569,046	4,961,159
売上原価	4,338,348	3,884,293
売上総利益	1,230,697	1,076,866
販売費及び一般管理費	1,067,180	1,013,460
営業利益	163,517	63,406
営業外収益		
受取利息	59	56
受取配当金	342	295
保険解約返戻金	—	14,556
助成金収入	—	8,828
雑収入	1,849	2,834
営業外収益合計	2,251	26,570
営業外費用		
支払利息	5,550	5,986
雑損失	1,905	2,329
営業外費用合計	7,456	8,316
経常利益	158,313	81,659
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	23,495
特別利益合計	—	23,495
特別損失		
固定資産除却損	2,732	13,260
特別損失合計	2,732	13,260
税金等調整前四半期純利益	155,580	91,895
法人税、住民税及び事業税	4,822	57,996
法人税等調整額	73,001	12,437
法人税等合計	77,824	70,433
四半期純利益	77,756	21,462

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,580	91,895
減価償却費	28,360	32,739
のれん償却額	16,023	25,272
長期前払費用償却額	5	—
繰延資産償却額	55	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	410	435
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,031	△81,411
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,485	△23,157
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,542	894
受取利息及び受取配当金	△401	△351
支払利息	5,550	5,986
有形固定資産除却損	2,732	13,260
売上債権の増減額(△は増加)	△72,517	72,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	8,392
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38,312	△10,927
仕入債務の増減額(△は減少)	92,275	△17,893
未払金の増減額(△は減少)	△120,092	△33,969
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△48,929	68,820
その他	82	1,164
小計	△26,180	153,662
利息及び配当金の受取額	401	351
利息の支払額	△5,343	△5,644
法人税等の支払額	△426,256	△186,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	△457,379	△38,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,919	△15,575
有形固定資産の除却による支出	—	△10,431
無形固定資産の取得による支出	△2,018	—
敷金の差入による支出	△17,937	△3,036
敷金の回収による収入	1,341	3,548
その他	△3,466	2,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,001	△22,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	458,000	△219,000
長期借入金の返済による支出	△70,310	△61,678
リース債務の返済による支出	—	△1,806
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△48,234	△65,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	339,455	△357,524
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180,925	△418,428
現金及び現金同等物の期首残高	813,261	1,220,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	632,335	801,685

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

当連結グループは人材サービス関連事業を営んでおり、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める人材サービス関連事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。